

2019年7月1日

科目名	SPI基礎	必修・選択	必修
対象クラス	警察消防学科1年	開講時期	前期
教員名	八鍬 政之	実務授業の有無	無

## 1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

後期からの数的推理に繋ぐため、基本的な計算手順や問題解法の手順を着実に定着させる。特に初期の四則計算、分数の計算方法などに時間を掛け、全学生が習熟するよう個別観察とフォローを行う。  
毎授業前にはウォーミングアップとして適性試験演習を実施する。

## 2. 授業計画

(1時限

45分

×

48回

=

2160分

3単位

時間	指導単元	時間	指導単元
1	四則計算①	41	条件と領域①
2	四則計算②	42	条件と領域②
3	四則計算③	43	条件と領域③
4	四則計算④	44	割合①
5	小数の問題①	45	割合②
6	小数の問題②	46	割合③
7	分数の問題①	47	確認①
8	分数の問題②	48	確認②
9	分数の問題③	49	
10	分数の問題④	50	
11	割合①	51	
12	割合②	52	
13	割合③	53	
14	損益算①	54	
15	損益算②	55	
16	損益算③	56	
17	料金の割引①	57	
18	料金の割引②	58	
19	分割払い①	59	
20	分割払い②	60	
21	分割払い③	61	
22	代金の精算①	62	
23	代金の精算②	63	
24	代金の精算③	64	
25	速さ①	65	
26	速さ②	66	
27	速さ③	67	
28	速さ④	68	
29	速さ⑤	69	
30	表の読み取り①	70	
31	表の読み取り②	71	
32	表の読み取り③	72	
33	集計表①	73	
34	集計表②	74	
35	組合せ①	75	
36	組合せ②	76	
37	組合せ③	77	
38	確率①	78	
39	確率②	79	
40	確率③	80	

## 3.

出席	50%	} 100%	備考欄
授業貢献度	5%		
授業内のレポート・課題等	5%		
中間試験	0%		
期末試験	40%		

## 4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	SPI基礎からはじめる問題集、自作プリント		
著者名	小山 隆之	出版社	実務教育出版

2019年7月1日

(1) 科目名	アクティブプラン	必修・選択	必修
(2) 対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	通年
(3) 担当者	八鍬	実務授業の有無	無

## 1. 授業内容(重点を置く事柄・指導方法・昨年からの改善点)

①:チームの和を作る(それぞれが意見を出し合う)
②:集団討論の要素も入れ、意見をまとめる力を養う
③:ipad等を取り入れ、世の中の事柄に関心を持つ
④:公務という市民、県民、国民のために何ができるのか身近なところから考える。
⑤:前期を通して考えた案を実行する(夏季休暇や冬期休暇)

## 2. 授業計画 (1時限 45分 × 32回 = 1440分 2単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	オリエンテーション	41	
2	地域のためにできる事柄を出しまとめる①	42	
3	地域のためにできる事柄を出しまとめる②	43	
4	地域のためにできる事柄を出しまとめる③	44	
5	グループの中で意見をまとめ	45	
6	できることをまとめる。(資料作成、発表レジュメを作成)	46	
7	どこで何をするか?	47	
8	目的と達成後の効果	48	
9	準備 回収 実施までの準備①	49	
10	準備 回収 実施までの準備②	50	
11	準備 回収 実施までの準備③	51	
12	準備 回収 実施までの準備④	52	
13	準備 回収 実施までの準備⑤	53	
14	地域貢献内容を具体化し、行動にうつす①	54	
15	地域貢献内容を具体化し、行動にうつす②	55	
16	地域貢献内容を具体化し、行動にうつす③	56	
17	地域貢献内容を具体化し、行動にうつす④	57	
18	地域貢献内容を具体化し、行動にうつす⑤	58	
19	各部ループ発表の為の資料収集	59	
20	実施までの道のりの整理	60	
21	反省	61	
22	第二回目のボランティア実施案作成①	62	
23	第二回目のボランティア実施案作成②	63	
24	ボランティア準備①	64	
25	ボランティア準備②	65	
26	ボランティア準備③	66	
27	各部ループ発表の為の資料収集	67	
28	実施までの道のりの整理	68	
29	反省	69	
30	パワーポイント作成	70	
31	実施報告発表準備・発表①	71	
32	実施報告発表準備・発表②	72	
33		73	
34		74	
35		75	
36		76	
37		77	
38		78	
39		79	
40		80	

## 3. 評価方法

出席	70%	} 100%	備考欄
授業貢献度	10%		
授業内のレポート・課題等	20%		
中間試験	0%		
期末試験	0%		

## 4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	特になし(ノート、参考プリントを使用)		
著者名		出版社	

2019年7月1日

科目名	キャリアデザイン I	必修・選択	必修
対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	通年
教員名	八鍬 政之	実務授業の有無	無

## 1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

①:進路決定に向けての公務員職種の理解
②:早期の志望動機作成
③:民間企業も含め幅広い視野からの進路決定
④:ボランティア等の各種実習の動機付け

## 2. 授業計画

(1時限

45分

×

30回

=

1350分

2単位

時間	指導単元	時間	指導単元
1	公安系公務員採用試験について	41	
2	警察(消防)について	42	
3	警察官(消防官)の業務内容について	43	
4	自衛官の試験と業務内容	44	
5	公務員の基礎知識(種類)	45	
6	国家公務員について(行政職)	46	
7	海上保安官の業務内容について	47	
8	東京視察研修の説明・諸連絡	48	
9	東京視察研修の振り返り	49	
10	自己PRの作成開始	50	
11	インターンシップ・ボランティア実習について	51	
12	自己PR発表、面接カード①作成開始	52	
13	夏期課題の説明・夏期休暇の諸注意	53	
14	ボランティア実習の振り返り	54	
15	模試の取り組み方、模試復習の仕方	55	
16	模試結果の振り返り、今後の課題	56	
17	志望動機作成①	57	
18	志望動機作成②	58	
19	志望動機作成③	59	
20	志望動機の発表	60	
21	自衛隊体験入隊の説明・諸注意	61	
22	面接カード①返却	62	
23	自衛隊体験入隊の振り返り	63	
24	志望動機完成	64	
25	公務員試験について/受験プランの立て方	65	
26	面接カード②作成開始	66	
27	冬期課題の説明・冬期休暇の諸注意	67	
28	民間就職について	68	
29	就職活動流れの説明	69	
30	就職研修の説明	70	
31		71	
32		72	
33		73	
34		74	
35		75	
36		76	
37		77	
38		78	
39		79	
40		80	

## 3. 評価方法

出席	65%	}	100%	備考欄
授業貢献度	5%			
授業内のレポート・課題等	30%			
中間試験				
期末試験				

## 4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	自作プリント	出版社	
著者名			

2019年7月1日

科目名	コンピュータ実習 I (Word)	必修・選択	必修
対象クラス	警察消防学科1年	開講時期	前期
教員名	鹿熊 真弓	実務授業の有無	無

## 1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

- ・プリントを使用し、タッチタイピングを習得する。
- ・テキストを使用し、Wordの基本操作を習得する。
- ・練習プリントを使用し、応用力を身に付ける。
- ・検定問題集を使用し、3級合格を目指す。

## 2. 授業計画 (1時限 45分 × 58回 = 2610分 3単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	キーボード、Wordの画面説明	41	問題集 練習問題3
2	タッチタイピングの説明	42	解答・直し 早く終了した人から速度入力
3	タッチタイピング アルファベット入力練習	43	問題集 模擬問題1
4	タッチタイピング アルファベット入力練習	44	解答・直し 早く終了した人から速度入力
5	タッチタイピング プリント:Step1~4	45	問題集 模擬問題2
6	タッチタイピング プリント:Step1~4	46	解答・直し 早く終了した人から速度入力
7	タッチタイピング プリント:Step1~4	47	問題集 模擬問題3
8	タッチタイピング プリント:Step1~4	48	解答・直し 早く終了した人から速度入力
9	タッチタイピング プリント:Step1~4	49	問題集 模擬問題4
10	タッチタイピング プリント:清音、濁音・半濁音	50	解答・直し 早く終了した人から速度入力
11	タッチタイピング プリント:清音、濁音・半濁音	51	問題集 模擬問題5
12	タッチタイピング プリント:拗音	52	解答・直し 早く終了した人から速度入力
13	タッチタイピング プリント:拗音	53	問題集 模擬問題6
14	タッチタイピング プリント:拗音	54	解答・直し 早く終了した人から速度入力
15	タッチタイピング プリント:記号、短文練習	55	サンプル問題
16	タッチタイピング プリント:記号、短文練習	56	解答・直し
17	タッチタイピング 手元撮影	57	検定
18	速度入力 Chapter1 Wordの基本	58	検定
19	速度入力 Chapter2 文字の入力と基本操作	59	
20	Chapter3 文書の編集	60	
21	速度入力 Chapter3 文書の編集	61	
22	Chapter4、5 文書の印刷と作成	62	
23	速度入力 プリント:ビジネス文書1~4	63	
24	プリント:ビジネス文書1~4	64	
25	速度入力 プリント:タブとリーダー	65	
26	Chapter6 表を使った文章の作成	66	
27	速度テスト Chapter6 表を使った文章の作成	67	
28	プリント:罫線操作1~4	68	
29	速度入力 プリント:罫線操作1~4	69	
30	Chapter7 図形や画像を使った文書の作成	70	
31	速度入力 Chapter7 図形や画像を使った文書の作成	71	
32	プリント:図形操作1~3	72	
33	Chapter2~7の練習問題	73	
34	Chapter2~7の練習問題	74	
35	第2部 総合学習問題	75	
36	第2部 総合学習問題	76	
37	問題集 練習問題1	77	
38	解答・直し 早く終了した人から速度入力	78	
39	問題集 練習問題2	79	
40	解答・直し 早く終了した人から速度入力	80	

## 3. 評価方法

出席	}	N/A	備考欄	科目出席率75%未満または、10点満点中
授業貢献度				A:8~10点 ※検定不合格者はC評価
授業内のレポート・課題等				B:5~7点 ※授業態度、課題、提出物、模擬問題、
中間試験				C:3~4点 サンプル問題、検定結果を総合評価
期末試験				追試:0~2点

## 4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	Word2016クイックマスター<基礎編>、Word文書処理技能認定試験3級問題集2016対応版		
著者名	サーティファイ ソフトウェア活用能力認定委員会	出版社	株式会社サーティファイ

## 5. 実務教員の経歴

無
---



2019年7月1日

科目名	公安公務員概論	必修・選択	必修
対象クラス	警察・消防学科 1年	開講時期	前期
教員名	松本 靖 吉村修一	実務授業の有無	無

## 1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

- ・公安系職種の特徴、使命、役割、職責などを理解させる。
- ・公安系職員に求められる人物像、資質について理解させる。
- ・グループワーク形式で「人のために何が出来るか」を学生主体となり、考えさせる。
- ・警察業務・警察の組織・求められる公務員像・警察官像・警察学校での生活等、警察の基本を理解させる。
- ・警察官以前の社会人としての在り方や倫理観を醸成するため著名人の言葉や警察官の体験談等を紹介していく。
- ・全て警察官を題材として、公安系公務員に対する理解と知識を深めていく。

## 2. 授業計画

(1時限

45分

×

34回

＝

1530分

2単位

時間	指導単元	時間	指導単元
1	松本担当 授業概要説明、	41	
2	松本担当 法律から見る公安系の使命と職責	42	
3	松本担当 動画で見る公安系の使命と職責	43	
4	松本担当 資料・手記等で学ぶ公安系マインド	44	
5	松本担当 資料・手記等で学ぶ公安系マインド	45	
6	松本担当 資料・手記等で学ぶ公安系マインド	46	
7	松本担当 OB・OGから学ぶ公安系の実際	47	
8	松本担当 東京研修について作文	48	
9	松本担当 災害の種類・現状・課題	49	
10	松本担当 災害の種類・現状・課題	50	
11	松本担当 災害の種類・現状・課題	51	
12	松本担当 応急手当の基本	52	
13	吉村担当 自己紹介	53	
14	吉村担当 警察の存在意義	54	
15	吉村担当 警察官像、警察の組織	55	
16	吉村担当 //	56	
17	吉村担当 業務、警察学校の紹介	57	
18	吉村担当 //	58	
19	吉村担当 人生訓、社会人としての在り方	59	
20	吉村担当 //	60	
21	吉村担当 警察官の各種体験談紹介	61	
22	吉村担当 //	62	
23	吉村担当 警察官の各種体験談紹介	63	
24	吉村担当 //	64	
25	航空自衛隊新潟救難隊見学	65	
26	航空自衛隊新潟救難隊見学	66	
27	航空自衛隊新潟救難隊見学	67	
28	航空自衛隊新潟救難隊見学	68	
29	陸上自衛隊体験入隊	69	
30	陸上自衛隊体験入隊	70	
31	陸上自衛隊体験入隊	71	
32	陸上自衛隊体験入隊	72	
33	陸上自衛隊体験入隊	73	
34	陸上自衛隊体験入隊	74	
35		75	
36		76	
37		77	
38		78	
39		79	
40		80	

## 3. 評価方法

出席	10%	} 100%	備考欄 ・企業連携内容 ・消防コース、海刑自コース→新潟市学生消防団入団 ・全コース→自衛隊体験入隊6時間、救難隊見学4時間
授業貢献度			
授業内のレポート・課題等			
中間試験			
期末試験	90%		

## 4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	自作プリント	出版社	
著者名			

## 5. 実務教員の経歴

無
---

2019年7月1日

科目名	公務員試験演習 I	必修・選択	必修
対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	後期
教員名	八鍬 政之	実務授業の有無	無

## 1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

- ・模擬試験を通して公務員試験対策となる問題形式の把握、解法の理解を深める。
- ・模擬試験の自らの解答に解説、解法を加え、より理解度を深める。

## 2. 授業計画

(1時限 45分 × 96回 = 4320分 6単位)

時間	指導単元	時間	指導単元	時間	指導単元
1	第1回校内模擬試験	41	第9回校内模擬試験	81	第7回統一模擬試験
2	第1回校内模擬試験	42	第9回校内模擬試験	82	第7回統一模擬試験
3	第1回校内模擬試験	43	第9回校内模擬試験	83	第7回統一模擬試験
4	第1回校内模擬試験、解説・解法説明	44	第9回校内模擬試験、解説・解法説明	84	第7回統一模擬試験、解説・解法説明
5	第1回校内模擬試験、解説・解法説明	45	第9回校内模擬試験、解説・解法説明	85	第7回統一模擬試験、解説・解法説明
6	第2回校内模擬試験	46	第10回校内模擬試験	86	第8回統一模擬試験
7	第2回校内模擬試験	47	第10回校内模擬試験	87	第8回統一模擬試験
8	第2回校内模擬試験	48	第10回校内模擬試験	88	第8回統一模擬試験
9	第2回校内模擬試験、解説・解法説明	49	第10回校内模擬試験、解説・解法説明	89	第8回統一模擬試験、解説・解法説明
10	第2回校内模擬試験、解説・解法説明	50	第10回校内模擬試験、解説・解法説明	90	第8回統一模擬試験、解説・解法説明
11	第3回校内模擬試験	51	第1回統一模擬試験	91	第9回統一模擬試験
12	第3回校内模擬試験	52	第1回統一模擬試験	92	第9回統一模擬試験
13	第3回校内模擬試験	53	第1回統一模擬試験	93	第9回統一模擬試験
14	第3回校内模擬試験、解説・解法説明	54	第1回統一模擬試験、解説・解法説明	94	第9回統一模擬試験、解説・解法説明
15	第3回校内模擬試験、解説・解法説明	55	第1回統一模擬試験、解説・解法説明	95	第9回統一模擬試験、解説・解法説明
16	第4回校内模擬試験	56	第2回統一模擬試験	96	総集統一模擬、解説・解法説明
17	第4回校内模擬試験	57	第2回統一模擬試験	97	
18	第4回校内模擬試験	58	第2回統一模擬試験	98	
19	第4回校内模擬試験、解説・解法説明	59	第2回統一模擬試験、解説・解法説明	99	
20	第4回校内模擬試験、解説・解法説明	60	第2回統一模擬試験、解説・解法説明	100	
21	第5回校内模擬試験	61	第3回統一模擬試験	101	
22	第5回校内模擬試験	62	第3回統一模擬試験	102	
23	第5回校内模擬試験	63	第3回統一模擬試験	103	
24	第5回校内模擬試験、解説・解法説明	64	第3回統一模擬試験、解説・解法説明	104	
25	第5回校内模擬試験、解説・解法説明	65	第3回統一模擬試験、解説・解法説明	105	
26	第6回校内模擬試験	66	第4回統一模擬試験	106	
27	第6回校内模擬試験	67	第4回統一模擬試験	107	
28	第6回校内模擬試験	68	第4回統一模擬試験	108	
29	第6回校内模擬試験、解説・解法説明	69	第4回統一模擬試験、解説・解法説明	109	
30	第6回校内模擬試験、解説・解法説明	70	第4回統一模擬試験、解説・解法説明	110	
31	第7回校内模擬試験	71	第5回統一模擬試験	111	
32	第7回校内模擬試験	72	第5回統一模擬試験	112	
33	第7回校内模擬試験	73	第5回統一模擬試験	113	
34	第7回校内模擬試験、解説・解法説明	74	第5回統一模擬試験、解説・解法説明	114	
35	第7回校内模擬試験、解説・解法説明	75	第5回統一模擬試験、解説・解法説明	115	
36	第8回校内模擬試験	76	第6回統一模擬試験	116	
37	第8回校内模擬試験	77	第6回統一模擬試験	117	
38	第8回校内模擬試験	78	第6回統一模擬試験	118	
39	第8回校内模擬試験、解説・解法説明	79	第6回統一模擬試験、解説・解法説明	119	
40	第8回校内模擬試験、解説・解法説明	80	第6回統一模擬試験、解説・解法説明	120	

## 3. 評価方法

出席	80%	} 100%	備考欄
授業貢献度	5%		
授業内のレポート・課題等	5%		
中間試験	5%		
期末試験	5%		

## 4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	校内模擬試験 統一模擬試験		
著者名		出版社	株式会社ウイネット

2019年7月1日

科目名	資料解釈 I	必修・選択	必修
対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	通年
教員名	松村 麗	実務授業の有無	無

## 1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

- ①重点目標:基礎からしっかりと身に付けていき、公務員試験で資料解釈を確実に得点源にする。  
 ②指導の流れ:初期は計算問題や簡単な文章問題などを使い基礎を重点的に指導し、より早く正確に基礎問題を解けるようにする。  
 後期からは公務員試験を意識し、実践的な問題にふれることで資料解釈に慣れ、確実に得点源にできる科目にする。  
 ③指導方法:主にプリントを使い解答・解説

## 2. 授業計画

(1時限

45分

×

29回

=

1305分

1単位

時間	指導単元	時間	指導単元
1	プリント3 割合と比1	41	
2	プリント4 割合と比2	42	
3	プリント1 グラフの基本読み取り1	43	
4	プリント2 グラフの基本読み取り2	44	
5	プリント5 数表1	45	
6	プリント6 数表2	46	
7	プリント7 数表3	47	
8	プリント8 数表4	48	
9	プリント9 数表5	49	
10	プリント10 数表6	50	
11	プリント11 図表・グラフ1	51	
12	プリント12 図表・グラフ2	52	
13	プリント13 図表・グラフ3	53	
14	プリント14 図表・グラフ4	54	
15	プリント15 図表・グラフ5	55	
16	プリント16 実戦問題1	56	
17	プリント17 実戦問題2	57	
18	プリント18 実戦問題3	58	
19	プリント19 実戦問題4	59	
20	プリント20 実戦問題5	60	
21	プリント21 実戦問題6	61	
22	プリント22 実戦問題7	62	
23	プリント23 実戦問題8	63	
24	プリント24 実戦問題9	64	
25	プリント25 実戦問題10	65	
26	プリント26 実戦問題11	66	
27	プリント27 実戦問題12	67	
28	プリント28 実戦問題13	68	
29	プリント29 実戦問題14	69	
30		70	
31		71	
32		72	
33		73	
34		74	
35		75	
36		76	
37		77	
38		78	
39		79	
40		80	

## 3. 評価方法

出席	50%	} 100%	備考欄
授業貢献度	5%		
授業内のレポート・課題等	5%		
中間試験			
期末試験	40%		

## 4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	自作プリント	出版社	
著者名			

2019年7月1日

科目名	自然科学 I	必修・選択	必修
対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	後期
教員名	仲野 浩一	実務授業の有無	無

## 1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

ウィネットテキストに従い、生物・地学の基本内容を学習する。次年度の公務員試験に対応するすべての範囲を学習する。各單元ごとに、宿題として過去問プリントを配付して学習到達度を確認していく。

## 2. 授業計画

(1時限

45分

×

30回

=

1350分

2単位

時間	指導單元	時間	指導單元
1	生物 1章 細胞の構造と働き	41	
2	生物 1章 細胞の構造と働き	42	
3	生物 1章 細胞の構造と働き (過去問演習あり)	43	
4	地学 1章 大気と地球	44	
5	地学 1章 大気と地球 (過去問演習あり)	45	
6	生物 2章 同化と異化のしくみ	46	
7	生物 2章 同化と異化のしくみ	47	
8	生物 2章 同化と異化のしくみ (過去問演習あり)	48	
9	地学 2章 地殻の構成物質	49	
10	地学 2章 地殻の構成物質 (過去問演習あり)	50	
11	生物 3章 体液と恒常性	51	
12	生物 3章 体液と恒常性	52	
13	生物 3章 体液と恒常性 (過去問演習あり)	53	
14	地学 3章 地球の歴史	54	
15	地学 3章 地球の歴史 (過去問演習あり)	55	
16	生物 4章 刺激伝達と反応調節	56	
17	生物 4章 刺激伝達と反応調節	57	
18	生物 4章 刺激伝達と反応調節 (過去問演習あり)	58	
19	地学 4章 水・大気の循環と天気	59	
20	地学 4章 水・大気の循環と天気 (過去問演習)	60	
21	生物 5章 遺伝	61	
22	生物 5章 遺伝	62	
23	生物 5章 遺伝	63	
24	生物 5章 遺伝 (過去問演習あり)	64	
25	地学 5章 地球・天体の運動	65	
26	地学 5章 地球・天体の運動 (過去問演習あり)	66	
27	生物 6章 生殖・発生・進化・生態系	67	
28	生物 6章 生殖・発生・進化・生態系	68	
29	生物 6章 生殖・発生・進化・生態系 (過去問演習あり)	69	
30	地学 6章 太陽系と宇宙	70	
31	<予備時間>	71	
32	<予備時間>	72	
33		73	
34		74	
35		75	
36		76	
37		77	
38		78	
39		79	
40		80	

## 3. 評価方法

出席	10%	} 100%	備考欄
授業貢献度			
授業内のレポート・課題等			
中間試験			
期末試験	90%		

## 4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	ウィネット 一般知識・下(自然科学) テキスト、問題集	出版社	ウィネット
著者名			

## 5. 実務教員の経歴

無



2019年7月1日

科目名	社会科学 I (政治経済)	必修・選択	必修
対象クラス	警察・消防学科	開講時期	後期
教員名	宮本 恵	実務授業の有無	無

## 1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

政治・経済の基礎知識を固めることを目標とする。また社会科学は論理的な教科であるため理解しやすく、ために得点源となることを理解するよう促す。本教科の学習を通じ、学習意欲が高まることを期待している。  
 テ講義は自作プリントを中心に行い、テキストは補助教材/資料として使用する。単元終了ごとに短答式演習問題を配布し、理解度の確認をする。

## 2. 授業計画

(1時限

45分

×

30回

=

1350分

2単位

時間	指導単元	時間
1	第7章. 国際政治の現状と課題	41
2	第7章. 国際政治の現状と課題	42
3	第7章. 国際政治の現状と課題	43
4	第7章. 国際政治の現状と課題	44
5	模試対策①	45
6	第8章. 経済社会のしくみと経済学	46
7	第8章. 経済社会のしくみと経済学	47
8	第8章. 経済社会のしくみと経済学	48
9	第8章. 経済社会のしくみと経済学	49
10	模試対策②	50
11	第9章. 国民経済の構造と経済成長	51
12	第9章. 国民経済の構造と経済成長	52
13	第9章. 国民経済の構造と経済成長	53
14	第9章. 国民経済の構造と経済成長	54
15	模試対策③	55
16	第10章. 日本経済の現状と諸問題	56
17	第10章. 日本経済の現状と諸問題	57
18	第10章. 日本経済の現状と諸問題	58
19	第10章. 日本経済の現状と諸問題	59
20	模試対策④	60
21	第11章. 国際経済と経済協力	61
22	第11章. 国際経済と経済協力	62
23	第11章. 国際経済と経済協力	63
24	第11章. 国際経済と経済協力	64
25	模試対策⑤	65
26	復習(過去問)	66
27	復習(過去問)	67
28	復習(過去問)	68
29	評定試験勉強(予備)	69
30	評定試験勉強(予備)	70
31		71
32		72
33		73
34		74
35		75
36		76
37		77
38		78
39		79
40		80

## 3. 評価方法

出席	}	100%	備考欄 出席率75%以上をもって期末試験の受験資格とする。 それ以下の場合は追試対象とし、追試成績の如何に関わらず、成績はC以下となる。
授業貢献度			
授業内のレポート・課題等			
中間試験			
期末試験 100%			

## 4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	高卒程度公務員講座シリーズ一般知識講義編上、同解説編上、同ワークブック上、自作プリント		
著者名	株式会社ウィネット公務員試験研究会	出版社	株式会社ウィネット

## 5. 実務教員の経歴

無

2019年7月1日

科目名	基礎社会科学(政治経済)	必修・選択	必修
対象クラス	警察・消防学科	開講時期	前期
教員名	宮本 恵	実務授業の有無	無

## 1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

政治・経済の基礎知識を固めることを目標とする。また社会科学は論理的な教科であるため理解しやすく、ために得点源となることを理解するよう促す。本教科の学習を通じ、学習意欲が高まることを期待している。  
 テ講義は自作プリントを中心に行い、テキストは補助教材/資料として使用する。単元終了ごとに短答式演習問題を配布し、理解度の確認をする。

## 2. 授業計画

(1時限

45分

×

24回

=

1080分

2単位

時間	指導単元	時間
1	第1章. 民主政治の成立1	41
2	第1章. 民主政治の成立2	42
3	第1章. 民主政治の成立3	43
4	第1章. 民主政治の成立4	44
5	第2章. 日本国憲法1	45
6	第2章. 日本国憲法2	46
7	第2章. 日本国憲法3	47
8	第2章. 日本国憲法4	48
9	第3章. 基本的人権の尊重1	49
10	第3章. 基本的人権の尊重2	50
11	第3章. 基本的人権の尊重3	51
12	第3章. 基本的人権の尊重4	52
13	第4章. 日本の政治機構(1)1	53
14	第4章. 日本の政治機構(1)2	54
15	第4章. 日本の政治機構(1)3	55
16	第4章. 日本の政治機構(1)4	56
17	第5章. 日本の政治機構(2)1	57
18	第5章. 日本の政治機構(2)2	58
19	第5章. 日本の政治機構(2)3	59
20	第5章. 日本の政治機構(2)4	60
21	第6章. 現代政治の諸問題1	61
22	第6章. 現代政治の諸問題2	62
23	評定試験勉強(予備)	63
24	評定試験勉強(予備)	64
25		65
26		66
27		67
28		68
29		69
30		70
31		71
32		72
33		73
34		74
35		75
36		76
37		77
38		78
39		79
40		80

## 3. 評価方法

出席	} 100%	備考欄 出席率75%以上をもって期末試験の受験資格とする。 それ以下の場合は追試対象とし、追試成績の如何に関わらず、成績はC以下となる。
授業貢献度		
授業内のレポート・課題等		
中間試験		
期末試験 100%		

## 4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	高卒程度公務員講座シリーズ一般知識講義編上、同解説編上、同ワークブック上、自作プリント		
著者名	株式会社ウィネット公務員試験研究会	出版社	株式会社ウィネット

## 5. 実務教員の経歴

無

2019年7月1日

科目名	人文科学 I A	必修・選択	必修
対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	後期
教員名	松村 麗	実務授業の有無	無

## 1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

<p>指導方法: テキストを中心に、より実戦的な知識の確認・定着を図る。地図帳を頻繁に確認し、ビジュアルイメージをつくることを心掛ける。单元ごとに確認ワークより出題する一問一答の確認テストを行い、基本的知識の定着を図る。また、過去問プリントも授業期間内にて実施。1年次授業の知識復習とプラスα知識の定着を図ることを重点におく。</p> <p>重点目標: 国家Ⅲ種・地方初級公務員1次試験合格水準知識の習得</p>
--

## 2. 授業計画

(1時限

45分

×

30回

=

1350分

2単位

時間	指導单元	時間	指導单元
1	①自然環境		
2	自然環境Ⅱ		
3	②気候・土壌		
4	気候・土壌Ⅱ		
5	気候・土壌Ⅲ		
6	気候・土壌Ⅳ		
7	③民族・人口・交通・地図		
8	民族・人口・交通・地図Ⅱ		
9	④世界の農林業		
10	世界の農林業Ⅱ		
11	⑤世界の鉱工業		
12	世界の鉱工業Ⅱ		
13	⑥アジア・アフリカ		
14	アジア・アフリカⅡ		
15	⑦ヨーロッパ		
16	ヨーロッパⅡ		
17	⑧南北アメリカ・オセアニア		
18	南北アメリカ・オセアニアⅡ		
19	⑨日本の自然・貿易		
20	日本の自然・貿易Ⅱ		
21	⑩日本の産業		
22	日本の産業Ⅱ		
23	⑪世界の都市、公害・環境問題		
24	世界の都市、公害・環境問題Ⅱ		
25	問題演習		
26	問題演習		
27	確認テスト		
28	問題演習		
29	問題演習		
30	確認テスト		
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			

## 3. 評価方法

出席	20%	} 100%	備考欄
授業貢献度	40%		
授業内のレポート・課題等			
中間試験			
期末試験	40%		

## 4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	公務員合格セミナー初級本科 人文科学テキスト/確認ワーク/演習ブック		
著者名	実務教育出版	出版社	実務教育出版

## 5. 実務教員の経歴

無
---

2019年7月1日

科目名	基礎人文科学B	必修・選択	必修
対象クラス	警察消防学科1年	開講時期	2019年8月第1週～1月第4週
教員名	夏野 龍	実務授業の有無	無

## 1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

公務員試験1次合格のための基礎作りが目的である。授業は講義編・補助プリントを中心に行う。内容は基礎事項の確認と歴史の流れを掴んでもらい、歴史への抵抗をなくして、興味を持たせる(人物に関するエピソードや雑学を盛り込む)。解説編で補足をし、家庭で復習として読むようにする。簡単な確認テストを定期的に行う。後期、人文科学Bへのスムーズな導入を図る。

## 2. 授業計画 (1時限 45分 × 30回 = 1350分 2単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	(日)6章.江戸時代 幕府政治の進展～幕藩体制の動揺	41	
2	(日)6章.江戸時代 幕藩体制の危機～元禄・化政文化	42	
3	(世)6章.イスラム世界の形成と発展	43	
4	〃	44	
5	(日)7章.明治時代 幕府権力の崩壊	45	
6	(日)7章.明治時代 明治維新	46	
7	(世)7章.市民革命 ピューリタン革命	47	
8	(世)7章.市民革命 列強のアジア進出	48	
9	(日)7章.明治時代 絶対主義の確立	49	
10	(日)7章.明治時代 日清日露戦争	50	
11	(世)7章.市民革命 アメリカ独立革命	51	
12	(世)7章.市民革命 産業革命	52	
13	(日)7章.明治時代 産業革命	53	
14	(日)7章.明治時代 条約改正	54	
15	(世)7章.市民革命 フランス革命	55	
16	(世)7章.市民革命 ウィーン会議	56	
17	(日)8章.現代 大正時代	57	
18	(日)8章.現代 昭和時代前期～中期	58	
19	(世)7章.市民革命 ウィーン体制 ウィーン体制の崩壊	59	
20	(世)7章.市民革命 自由主義の進展	60	
21	(日)8章.現代 昭和時代中期～後期	61	
22	(日)8章.現代 平成時代	62	
23	(世)7章.市民革命 自由主義の進展	63	
24	(世)8章.ヨーロッパ諸国の東進 インドの植民地化	64	
25	(世)8章.ヨーロッパ諸国の東進 インドの植民地化	65	
26	(世)8章.ヨーロッパ諸国の東進 中国の植民地化	66	
27	(世)9章.現代社会 第一次世界大戦	67	
28	(世)9章.現代社会 第二次世界大戦	68	
29	(世)9章.現代社会 冷戦	69	
30	(世)9章.現代社会 現代の世界	70	
31		71	
32		72	
33		73	
34		74	
35		75	
36		76	
37		77	
38		78	
39		79	
40		80	

## 3. 評価方法

出席	20%	} 100%	備考欄
授業貢献度	10%		
授業内のレポート・課題等	20%		
中間試験			
期末試験	50%		

## 4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	ウィネット(講義編・解説編・ワーク)、自作プリント		
著者名		出版社	ウィネット



2019年7月1日

科目名	人文科学入門	必修・選択	必修
対象クラス	警察消防学科1年	開講時期	2019年4月第2週～7月第1週
教員名	夏野 龍	実務授業の有無	無

## 1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

公務員試験1次合格のための基礎作りが目的である。授業は講義編・補助プリントを中心に行う。内容は基礎事項の確認と歴史の流れを掴んでもらい、歴史への抵抗をなくして、興味を持たせる(人物に関するエピソードや雑学を盛り込む)。解説編で補足をし、家庭で復習として読むようにする。簡単な確認テストを定期的に行う。後期、人文科学Bへのスムーズな導入を図る。

## 2. 授業計画

(1時限

45分

×

24回

=

1080分

1単位

時間	指導単元	時間	指導単元
1	(日)導入 1章. 原始時代	41	
2	(日)2章. 大和～飛鳥時代	42	
3	(世)導入 1章. 四大文明	43	
4	(世)2章. ギリシャ世界	44	
5	(日)2章. 奈良時代	45	
6	(世)2章. ローマ帝国	46	
7	(世)3章. 西ヨーロッパ～ローマ教会の発展①	47	
8	〃	48	
9	(日)3章. 平安時代～院政 鎌倉幕府の成立	49	
10	(日)4章. ～南北朝	50	
11	(世)3章. 西ヨーロッパ～ローマ教会の発展②	51	
12	(世)3章. 東ヨーロッパ～封建社会の変化	52	
13	(日)4章. ～南北朝	53	
14	(日)5章. 室町時代	54	
15	(世)4章. ルネサンス・宗教改革	55	
16	〃	56	
17	(日)5章. 安土桃山時代	57	
18	(日)6章. 江戸時代 幕藩体制	58	
19	(世)4章. 地理上の発見・絶対主義	59	
20	〃	60	
21	(日)6章. 武断政治～文治政治、鎖国	61	
22	(世)4章. 中国史(殷～隋)	62	
23	(世)5章. 中国史(唐～清)	63	
24	〃	64	
25		65	
26		66	
27		67	
28		68	
29		69	
30		70	
31		71	
32		72	
33		73	
34		74	
35		75	
36		76	
37		77	
38		78	
39		79	
40		80	

## 3. 評価方法

出席	20%	} 100%	備考欄
授業貢献度	10%		
授業内のレポート・課題等	20%		
中間試験			
期末試験	50%		

## 4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	高卒程度公務員講座シリーズ一般知識講義編上、同解説編上、同ワークブック上、自作プリント		
著者名	株式会社ウィネット公務員試験研究会	出版社	株式会社ウィネット

2019年7月1日

科目名	数的推理 I	必修・選択	必修
対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	後期
教員名	池口 清秀	実務授業の有無	無

## 1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

数理的な課題を通し基本的な計算力を鍛えながら、正答を導くための論理的な思考力を育成することを目的とする。中学～高校の計算・方程式などの基本内容の理解を固めながら初級公務員試験レベルに対応できる得点力を育成する。テキスト以外にも補助的な演習プリントを適宜配布し実力錬成を行う。

## 2. 授業計画

(1時限

45分

×

60回

＝

2700分

4単位

時間	指導単元	時間	指導単元
1	数の計算①	41	円と面積①
2	数の計算②	42	円と面積②
3	約数・倍数①	43	立体図形①
4	約数・倍数②	44	立体図形②
5	商と余り	45	場合の数①
6	記数法	46	場合の数②
7	数量問題①	47	順列①
8	数量問題②	48	順列②
9	覆面算・魔方陣①	49	組合せ①
10	覆面算・魔方陣②	50	組合せ②
11	数列①	51	確率①
12	数列②	52	確率②
13	方程式・関数①	53	総合演習①
14	方程式・関数②	54	総合演習②
15	連立方程式①	55	総合演習③
16	連立方程式②	56	総合演習④
17	方程式の整数解①	57	総合演習⑤
18	方程式の整数解②	58	総合演習⑥
19	不等式	59	総合演習⑦
20	時計算・年齢算・平均①	60	総合演習⑧
21	時計算・年齢算・平均②	61	
22	集合	62	
23	速さ・距離・時間①	63	
24	速さ・距離・時間②	64	
25	旅人算・流水算①	65	
26	旅人算・流水算②	66	
27	通過算①	67	
28	通過算②	68	
29	比・割合①	69	
30	比・割合②	70	
31	濃度①	71	
32	濃度②	72	
33	百分率・増加率①	73	
34	百分率, 増加率②	74	
35	仕事算①	75	
36	仕事算②	76	
37	給排水算・ニュートン算①	77	
38	給排水算・ニュートン算②	78	
39	三角形と面積①	79	
40	三角形と面積②	80	

## 3. 評価方法

出席	10%	} 100%	備考欄
授業貢献度			
授業内のレポート・課題等	10%		
中間試験	40%		
期末試験	40%		

## 4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	ウィネット(講義編・解説編・ワーク)、自作演習プリント		
著者名	株式会社ウィネット 公務員試験研究会	出版社	株式会社ウィネット

## 5. 実務教員の経歴

無
---

2019年7月1日

科目名	体育実習 I	必修・選択	必修
対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	前期
教員名	八鍬 政之／松村 麗	実務授業の有無	無

## 1. 授業概要(重点目標／指導方法等)

<p>体育実習 I</p> <p>●全コース⇒体力TR、階段TR、シャトルランor有酸素・柔軟性・体幹TR・ケア→可動域チェック等 授業後や放課後にもTRが各自で継続的にできるようにTR種目指導と食事と休養とTRの関係を指導 安全面への配慮も合わせて指導 ※4月8月前後(長期休暇明けなど)に体力試験科目の体力測定の実施。 ●改訂版 健康とスポーツの生理科学</p>
---

## 2. 授業計画 (1時限 45分 × 20回 = 900分 1単位)

時間	指導単元	時間	指導単元
1	体カトレーニング・(階段トレーニング)	41	
2	初期:動作理論～TR理論～可動域チェック	42	
3	↑継続して可動域確保動作の実施	43	
4		44	
5	中期:サーキットTR(有酸素からミドル系TR)	45	
6	↑	46	
7	↓	47	
8	後期:各自目標設定→TRメニューの組み方と実践	48	
9	全週共通。体力錬成を通し、公安系 公務員に必要な体力・精神力を磨く。 また厳しいトレーニングをクラス全員 で行うことで強い信頼関係、固い絆を 手に入れる。	49	
10		50	
11		51	
12		52	
13		53	
14		54	
15	体力試験・スポーツ交流	55	
16	全週共通。日頃の体力錬成の成果を 発揮する場として活用する。また定期 的に行うことで日々のトレーニングで 体力・精神力が向上していることを実 感できる機会とする。そして学年の交 流を通して仲間意識をより高める。	56	
17		57	
18		58	
19		59	
20		60	
21		61	
22		62	
23		63	
24		64	
25		65	
26		66	
27		67	
28		68	
29		69	
30		70	
31		71	
32		72	
33		73	
34		74	
35		75	
36		76	
37		77	
38		78	
39		79	
40		80	

## 3. 評価方法

出席	10%	} 100%	備考欄
授業貢献度	30%		
授業内のレポート・課題等			
中間試験	30%		
期末試験	30%		

## 4. テキスト／参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	改訂版 健康とスポーツの生理科学		
著者名	江橋博	出版社	ふくろう出版

2019年7月1日

科目名	判断推理 I	必修・選択	必修
対象クラス	警察消防学科1年	開講時期	通年
教員名	八鍬	実務授業の有無	無

## 1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

教養科目:判断推理分野の得点取得のための学習を身に付ける  
問題に触れやり方と解き方を習得することを目標とし実施する

## 2. 授業計画

(1時限 45分 × 84回 = 3780分)

5単位

時間	指導単元	時間	指導単元	時間	指導単元
1	【1】理論と集合	41	確認	81	投影図確認
2	命題の作り方	42	【12】展開図・サイコロ	82	サイコロ確認
3	対遇の作り方	43	演習問題	83	折り紙確認
4	ベン図 キャロル図の理解	44	確認	84	テスト
5	【2】暗号関係	45	【13】投影図・折り紙	85	
6	テキスト問題	46	テキスト問題	86	
7	演習問題	47	演習問題	87	
8	確認	48	確認	88	
9	【3】対応関係	49	テストの実施	89	
10	テキスト問題	50	命題の作り方	90	
11	演習問題	51	対遇の作り方	91	
12	確認	52	ベン図 キャロル図の理解	92	
13	【4】順序	53	暗号の種類	93	
14	テキスト問題	54	暗号解読の演習	94	
15	演習問題	55	おさらい	95	
16	確認	56	対応関係おさらい①	96	
17	【5】試合の勝敗	57	対応関係おさらい②	97	
18	テキスト問題	58	順序おさらい①	98	
19	演習問題	59	試合の勝敗おさらい①	99	
20	確認	60	試合の勝敗確認	100	
21	【6】方位・位置関係	61	方位関係おさらい①	101	
22	テキスト問題	62	方位関係おさらい②	102	
23	演習問題	63	手順おさらい①	103	
24	確認	64	手順おさらい②	104	
25	【7】手順・数量関係	65	道順おさらい①	105	
26	テキスト問題	66	道順おさらい②	106	
27	演習問題	67	数量おさらい①	107	
28	【8】道順・一筆書き	68	数量おさらい②	108	
29	テキスト問題	69	一筆書きおさらい	109	
30	演習問題	70	平面図形おさらい	110	
31	確認	71	平面図形確認	111	
32	【9】平面図形の数・模様	72	軌跡のポイントおさらい	112	
33	テキスト問題	73	軌跡の演習問題	113	
34	演習問題	74	軌跡確認	114	
35	確認	75	立体図形おさらい	115	
36	【10】軌跡	76	立体図形おさらい②	116	
37	確認	77	立体図形おさらい③	117	
38	【11】立体図形の構成	78	展開図おさらい	118	
39	テキスト問題	79	投影図おさらい	119	
40	演習問題	80	展開図確認	120	

## 3. 評価方法

出席	50%	} 100%	備考欄
授業貢献度	5%		
授業内のレポート・課題等	15%		
中間試験	0%		
期末試験	30%		

## 4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	高卒程度公務員講座シリーズ一般知能講義編、同ワークブック、自作プリント		
著者名	株式会社ウィネット公務員試験研究会	出版社	株式会社ウィネット

## 5. 実務教員の経歴

無
---



2019年7月1日

科目名	文章理解 I	必修・選択	必修
対象クラス	警察消防学科1年	開講時期	後期
教員名	松村 麗	実務授業の有無	無

## 1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

1.重点目標	公務員試験(論作文試験)受験対策
2.指導方法	テキストの各章に入る前にはpower pointによる内容説明を実施。 語彙・文法等の確認から入り、文章読解へと進む。加えて問題文中の漢字も学習する。 受験直前期の講義・演習であるため、添削も実施し文章構成力を練磨することに主眼を置く。

## 2. 授業計画

(1時限

45分

×

30回

=

1350分

2単位

時間	指導単元	時間	指導単元
1	第4章 手紙文	41	
2	①～③	42	
3	④～⑥	43	
4	第2章 資料分析	44	
5	①～③	45	
6	④⑤	46	
7	まとめ問題	47	
8	現代文読解プリント①	48	
9	現代文読解プリント②	49	
10	過去問(2014)14-1	50	
11	・前回の間違えた点の確認(小テスト)14-2	51	
12	14-3	52	
13	・今回の問題の実施。14-4	53	
14	4回分のまとめテスト(14-1から4)	54	
15	・解答と解説14-5	55	
16	14-6	56	
17	得点表に記入14-7	57	
18	14-8	58	
19	・残り時間を使って復習14-9	59	
20	5回分のまとめテスト(5から9)	60	
21	14-10	61	
22	14-11	62	
23	14-12	63	
24	14-13	64	
25	全てのまとめテスト(1から13まで)	65	
26	検定直前期(14-1、15-1)	66	
27	・上記に加え、問題を多用(15-1、16-1)	67	
28	17-1、18-1	68	
29	15-1～最後まで	69	
30	16-1～最後まで	70	
31		71	
32		72	
33		73	
34		74	
35		75	
36		76	
37		77	
38		78	
39		79	
40		80	

## 3. 評価方法

出席	30%	} 100%	備考欄
授業貢献度	40%		
授業内のレポート・課題等	30%		
中間試験	0%		
期末試験	0%		

## 4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	基礎から学べる！文章カステップ文章検4級対応、自作プリント、漢検用フリーソフト(タブレットアプリ)		
著者名	公益財団法人日本漢字能力検定協会	出版社	公益財団法人日本漢字能力検定協会

2019年7月1日

科目名	文章理解入門	必修・選択	必修
対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	前期
教員名	松村 麗	実務授業の有無	無

## 1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

1.重点目標	公務員試験(作文試験)に向け、文章構成力や創造性の向上
2.指導方法	テキストの各章に入る前にはpower pointによる内容説明を実施。 語彙・文法等の確認から入り、文章読解へと進む。加えて問題文中の漢字も学習する。 テキストに併せ、ビジネス文書検定の過去問も利用し、読解力向上をはかる。 論文対策講義とも連携し、授業を展開する。

## 2. 授業計画

(1時限

45分

×

52回

=

2340分

3単位

時間	指導単元	時間	指導単元
1	第1章 語彙・文法	41	41-60
2	①~③	42	61-80
3	第3章 文章読解	43	81-100
4	①~③	44	101-120
5	④⑤	45	121-140
6	自作プリント	46	自作プリント(四字熟語)
7	⑥⑦	47	1-26
8	第5章 意見文	48	27-50
9	①~③	49	51-69
10	④~⑥	50	70-88
11	過去問(2012)12-1	51	89-100
12	・前回の間違えた点の確認(小テスト)12-2	52	自作プリント(まとめテスト)
13	12-3	53	
14	・今回の問題の実施。12-4	54	
15	4回分のまとめテスト(12-1から4)	55	
16	・解答と解説12-5	56	
17	12-6	57	
18	得点表に記入12-7	58	
19	12-8	59	
20	・残り時間を使って復習12-9	60	
21	5回分のまとめテスト(5から9)	61	
22	12-10	62	
23	12-11	63	
24	12-12	64	
25	12-13 直前期まで繰り返し実施。	65	
26	全てのまとめテスト(1から13まで)	66	
27	検定直前期(13-1、14-1)	67	
28	・上記に加え、問題を多用(15-1、16-1)	68	
29	17-1、18-1	69	
30	自作プリント(反意語)	70	
31	1-20	71	
32	21-40	72	
33	41-60	73	
34	61-80	74	
35	81-100	75	
36	101-120	76	
37	121-140	77	
38	自作プリント(同意語)	78	
39	1-20	79	
40	21-40	80	

## 3. 評価方法

出席	10%	} 100%	備考欄
授業貢献度	30%		
授業内のレポート・課題等			
中間試験	30%		
期末試験	30%		

## 4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	基礎から学べる!文章カステップ文章検4級対応、自作プリント		
著者名	公益財団法人日本漢字能力検定協会	出版社	公益財団法人日本漢字能力検定協会

## 5. 実務教員の経歴

無
---

令和元年5月11日

科目名	論文対策	必修・選択	必修
対象クラス	警察・消防学科1年	開講時期	通年
教員名	工藤 亜佐子	実務授業の有無	無

## 1. 授業概要(重点目標/指導方法等)

- ・作文の知識、技術の向上。
- ・公務員試験必須の作文試験対策として、基礎基本から応用まで1年間かけてレベルアップを目指す。

## 2. 授業計画

(1時限

45分

×

30回

=

1350分

2単位

時間	指導単元	時間	指導単元
1	原稿用紙の使い方	41	
2	原稿用紙の使い方	42	
3	公安系公務員の基礎知識	43	
4	公安系公務員の基礎知識	44	
5	第1回作文実施	45	
6	第1回作文実施	46	
7	添削済み作文の見直し	47	
8	添削済み作文の見直し	48	
9	第2回作文実施	49	
10	第2回作文実施	50	
11	添削済み作文の見直し	51	
12	添削済み作文の見直し	52	
13	第3回作文実施	53	
14	第3回作文実施	54	
15	添削済み作文の見直し	55	
16	添削済み作文の見直し	56	
17	第4回作文実施	57	
18	第4回作文実施	58	
19	添削済み作文の見直し	59	
20	添削済み作文の見直し	60	
21	第5回作文実施	61	
22	第5回作文実施	62	
23	添削済み作文の見直し	63	
24	添削済み作文の見直し	64	
25	第6回作文実施	65	
26	第6回作文実施	66	
27	添削済み作文の見直し	67	
28	添削済み作文の見直し	68	
29	第7回作文実施	69	
30	第7回作文実施	70	
31		71	
32		72	
33		73	
34		74	
35		75	
36		76	
37		77	
38		78	
39		79	
40		80	

## 3. 評価方法

出席	100%	} 100%	備考欄 ・第7回実施の作文添削の返却、見直しは別途時間を設けて実施する。
授業貢献度			
授業内のレポート・課題等			
中間試験			
期末試験			

## 4. テキスト/参考文献等(書名・著者名・出版社)

書名	なし	出版社	
著者名			

## 5. 実務教員の経歴

無
---